

新藤兼人の描く反原子力・再考

共催団体：明治大学リバティアカデミー 明治大学教職員組合
協賛団体：千代田九条の会 公益財団法人第五福竜丸平和協会

日時 2012年4月28日(土) 13:00~16:30(予定) <入場無料>

会場 明治大学駿河台キャンパス リバティ・ホール(リバティ・タワー1階)
JR中央線御茶ノ水駅下車徒歩5分、東京メトロ神保町下車7分

申込 事前予約制です(全席自由、先着300名)
リバティアカデミー事務局へ電話かHP経由。

TEL03-3296-4423 URL <https://academy.meiji.jp>

新藤兼人氏(1912年-)は日本における現役最高齢の監督であり、昨2011年にも最新作『一枚のハガキ』を完成させたことで話題となりました。広島に生まれたこともあり、積極的に反核の問題を取り上げてきました。

改めて日本における原子力問題についての再考を求められている現在、新藤氏の足跡を辿り、彼のメッセージを皆さんとともに再認識しませんか。

- プログラム 13:00 主催者挨拶
13:10 上映会 **新藤兼人監督『第五福竜丸』**(1959年作品)
15:00 講演会 **新藤次郎氏：「父・新藤兼人の世界観」**

講師紹介：1949年生まれ、神奈川県出身。1971年日本大学芸術学部写真学科卒業。
在学中より新藤兼人作品を中心に独立プロのスタイルを担当。
1979年から三船プロダクションにて「大江戸捜査網」のプロデューサーを担当。1986年「ブラックボード」から近代映画協会にてプロデューサー、
2011年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞
現在 (株)近代映画協会代表取締役社長